

株式会社4°Cホールディングス
(東証一部 8008)

第71期(2021年2月期)決算説明資料

2021年4月12日

4°C holdings group

Contents

I. 2021年2月期決算概要

II. 2022年2月期戦略アプローチと業績予想

(株)4°Cホールディングス 代表取締役会長・CEO 木村 祭氏

※資料内の数値は百万円未満を切り捨て表示し、百分率は原データから算出しております。

当資料の業績予想に関する記述、及び客観的事実以外の記述に関しましては、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、当社の事業をとりまく経済情勢、市場の動向、為替レートなどに関わる様々な要因により、記述されている業績予想とは大幅に異なる可能性があることをご了承ください。

Contents

I. 2021年2月期決算概要

II. 2022年2月期戦略アプローチと業績予想

ジュエリー事業

- 休業、時間短縮営業を実施、特に4月・5月は大幅な売上減少に
(全店舗休業4/25-5/6、休業80%以上27日間、50%以上43日間)
- 11月中旬より新型コロナウイルス感染症第3波襲来、1月には
緊急事態宣言が再発出、クリスマス商戦を含む当期間の客数に
大きな影響

アパレル事業

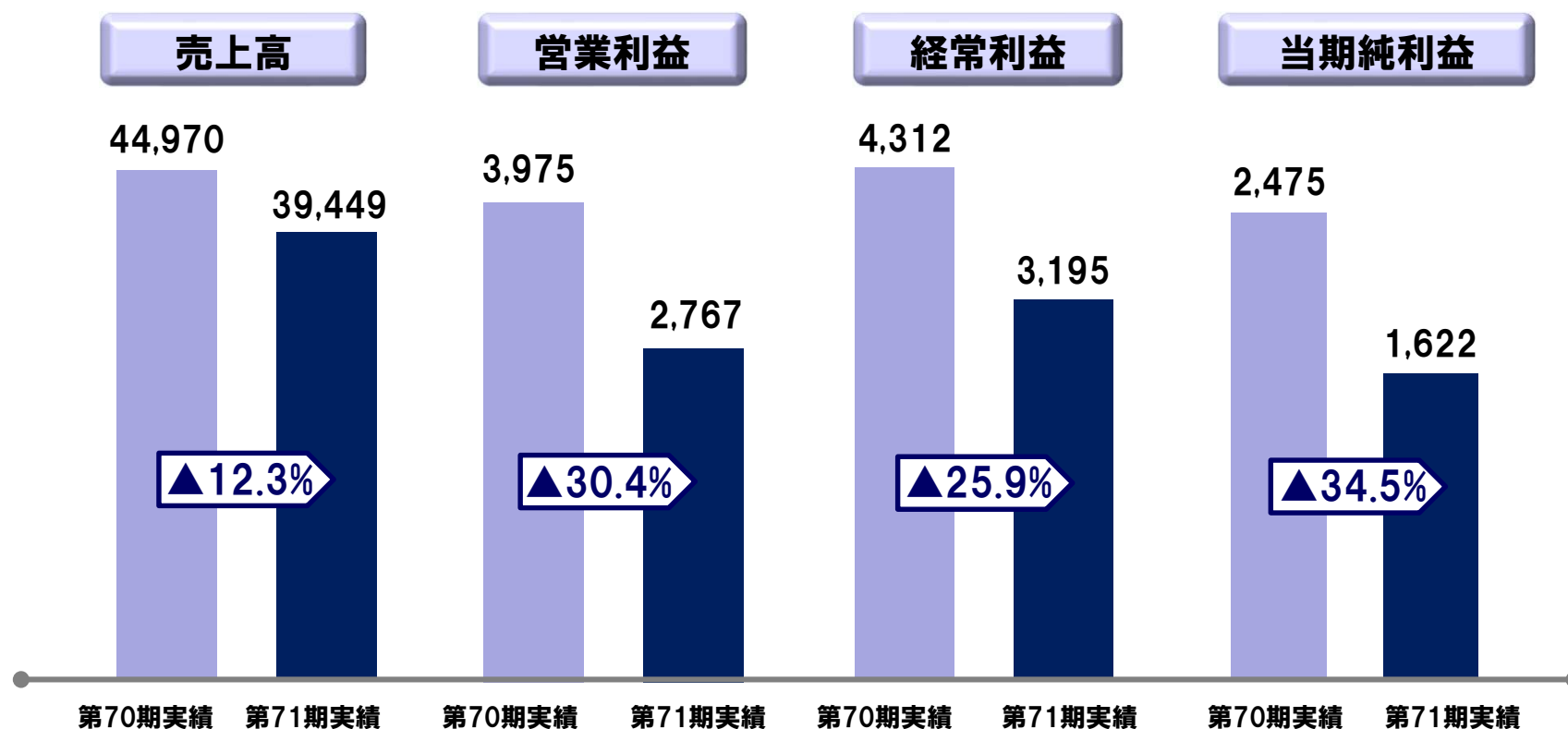
- アパレルメーカーは、海外渡航禁止に対しリモートコントロール強化、
サプライチェーンの円滑な運営維持し、旅費交通費は大幅削減
- デイリーファッション「パレット」は、認知度の向上や新規顧客の拡大が
進み5月以降好調に推移、売上高、営業利益ともに過去最高更新

2021年2月期連結業績の概要①

□ コロナ禍の影響を受け減収減益も利益は着実に確保

売上高	394.4億円(前期比12.3%減)	営業利益	27.6億円(同30.4%減)
経常利益	31.9億円(同25.9%減)	当期純利益	16.2億円(同34.5%減)

(単位:百万円)



2021年2月期連結業績の概要②

(百万円、%)	第70期(2020/2)		第71期(2021/2)				前期比/ 差	計画比/ 差
	実績	(%)	7/8公表値 計画	(%)	実績	(%)	増減(%)	増減(%)
売上高	44,970	100.0	39,000	100.0	39,449	100.0	▲12.3	+0.1
売上総利益	25,780	57.3	21,450	55.0	21,294	54.0	▲17.4	▲0.7
売上総利益率	57.3		55.0		54.0		▲3.3	±0
販売管理費	21,804	48.5	18,550	47.6	18,527	47.0	▲15.0	▲0.1
内、のれん償却費	496	1.1	496	1.3	496	1.3	±0	±0
営業利益	3,975	8.8	2,900	7.4	2,767	7.0	▲30.4	▲4.6
経常利益	4,312	9.6	3,300	8.5	3,195	8.1	▲25.9	▲3.1
当期純利益	2,475	5.5	2,000	5.1	1,622	4.1	▲34.5	▲20.0

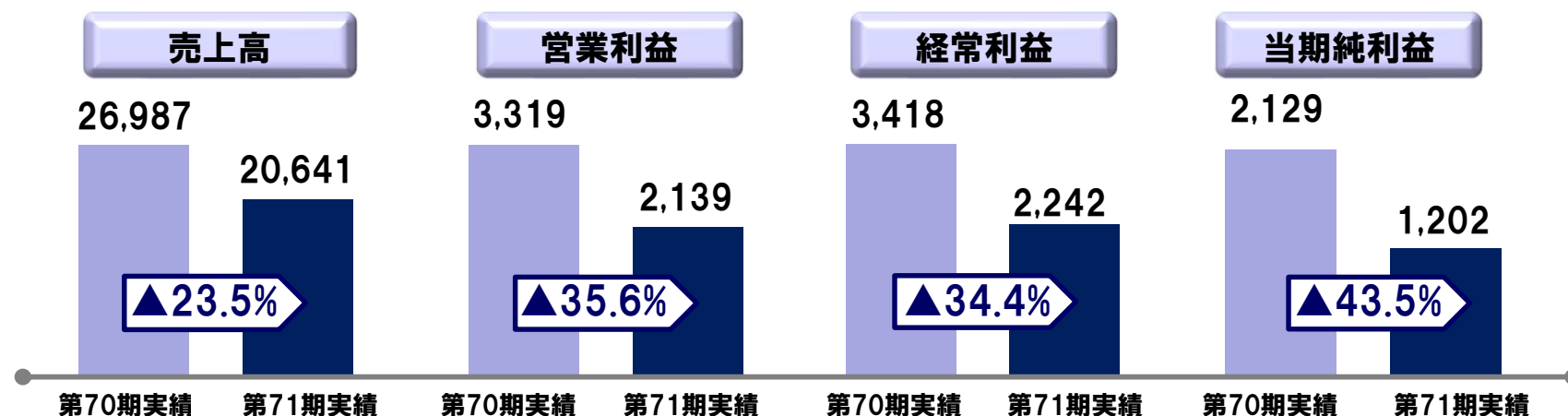
《参考》 重点経営指標	第70期(2020/2)		第71期(2021/2)				前期比	計画比
(百万円、%)	実績	(%)	7/8公表値 計画	(%)	実績	(%)	増減(%)	増減(%)
のれん償却前営業利益	4,471	9.9	3,396	8.7	3,263	8.3	▲17.4	▲3.9
のれん償却前当期純利益	2,971	6.6	2,496	6.4	2,118	5.4	▲28.7	▲15.1

※のれん償却前営業利益＝営業利益＋のれん償却額、のれん償却前当期純利益＝親会社株主に帰属する当期純利益＋のれん償却額

セグメント別業績の概要～ジュエリー事業

- 4月・5月の店舗休業、11月中旬以降の第3波の影響により減収減益
- ECは前期比+30%成長、4°CファッションジュエリーのEC化比率は10.9%⇒17%

(単位:百万円)

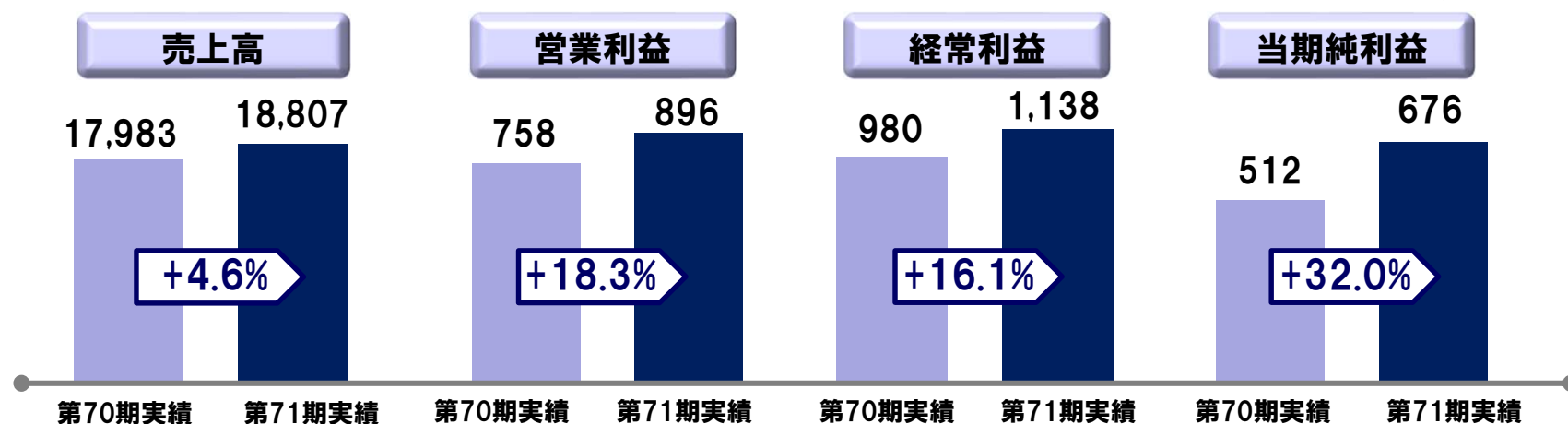


(百万円、%)	第70期(2020/2)		第71期(2021/2)				前期比 増減(%)	7/8 公表値比 増減(%)
	実績	(%)	7/8 公表値	(%)	実績	(%)		
売上高	26,987	100.0	21,200	100.0	20,641	100.0	▲23.5	▲2.6
営業利益	3,319	12.3	2,500	11.8	2,139	10.4	▲35.6	▲14.4
経常利益	3,418	12.7	2,600	12.3	2,242	10.9	▲34.4	▲13.8
当期純利益	2,129	7.9	1,600	7.5	1,202	5.8	▲43.5	▲24.9

セグメント別業績の概要～アパレル事業

- デイリーファッション「パレット」の好調により、アパレル事業は増収増益
- アパレルメーカー、出張旅費をはじめとした経費削減により利益は計画達成
- デイリーファッション「パレット」、巣ごもり需要と出店拡大により売上高100億円突破、過去最高益更新

(単位:百万円)

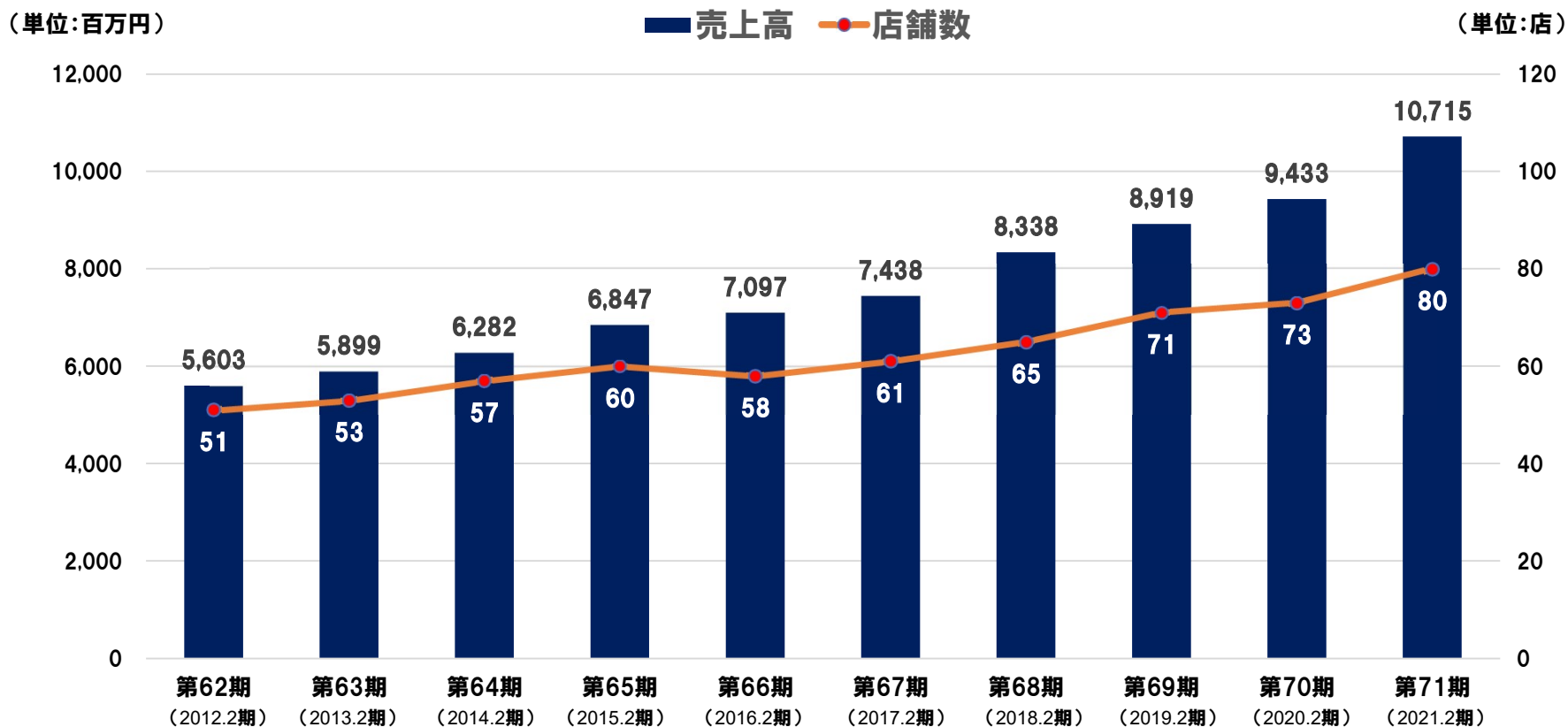


(百万円、%)	第70期 (2020/2)		第71期 (2021/2)		前期比 増減(%)	7/8 公表値比 増減(%)		
	実績	(%)	7/8 公表値	(%)			実績	(%)
売上高	17,983	100.0	17,800	100.0	18,807	100.0	+4.6	+5.7
営業利益	758	4.2	760	3.9	896	4.7	+18.3	+17.9
経常利益	980	5.4	960	5.6	1,138	6.1	+16.1	+18.5
当期純利益	512	2.8	620	3.1	676	3.6	+32.0	+9.0

「パレット」売上高100億円達成の軌跡

- 2010年より拠点を関西に移転、関西地区のドミナント出店戦略を推進
- 10年間で純増29店舗、売上高は51億円拡大

「パレット」売上高と店舗数の推移



財政状態、キャッシュ・フローの状況(連結)

- 総資産530億円、負債134億円、純資産395億円
- 営業CF、前期に法人税の支払い69億円あり、今期は大幅に改善
- 財務CF、株主還元として自己株式取得約6億円、配当金約17億円
- バランスシートは自己資本比率高く盤石、フリーCFは約44億円と、高いキャッシュ創出力を誇る

財務状況

2021年2月末時点

総資産 530億円	134億円	負債
	395億円	純資産

キャッシュ・フロー

(単位:百万円)	第70期 (2020/2)	第71期 (2021/2)	差額
営業CF	2,433	6,633	+4,200
投資CF	72	△2,169	△2,241
財務CF	△5,468	△2,515	+2,953
フリーCF	2,505	4,464	+1,959

設備投資・減価償却費の概要(連結)

設備投資額 : 7億円 減価償却費 : 10.2億円

(百万円、%)	第70期 (2020/2) 実績	第71期 (2021/2) 実績	前期差
---------	------------------------	------------------------	-----

設備投資額 880 703 Δ177

(百万円、%)	第70期 (2020/2) 実績	第71期 (2021/2) 実績	前期差
---------	------------------------	------------------------	-----

減価償却費 1,243 1,026 Δ217

出退店の状況

- ジュエリー事業、国内2ブランド閉鎖及び中国マーケットからの撤退により純減
- アパレル事業、「パレット」の出店拡大が順調に進み、7店舗純増

		ジュエリー事業					アパレル事業		合計
		国内					海外	パレット	
		路面店 ブティック	百貨店	ブライダル ショップ	ファッション ビル	計			
第70期 (2020/2)	期末	2	71	40	70	183	3	73	259
第71期 実績 (2021/2)	出店	1	1	0	1	3	0	9	12
	退店	0	1	0	10	11	3	2	16
	期末	3	71	40	61	175	0	80	255

ジュエリー事業における国内取扱いブランド店舗数の状況

		4°C	4°C BRIDAL	canal4°C	EAU DOUCE 4°C	MAISON JEWELL	ジュエリー計	Luria4°C	合計
第70期 (2020/2)	期末	83	40	49	21	5	198	25	223
第71期 実績 (2021/2)	出店	2	0	1	0	0	3	0	3
	退店	1	0	5	7	5	18	25	43
	期末	84	40	45	14	0	183	0	183

※同一店舗にて複数のブランドを扱う複合店は各ブランドごとに1店舗として計上

※「4°C」出退店のうち1店舗は館内移動によるもの

□ 自己株式の取得を積極的に実施、連続増配へのこだわりも堅持

- 2021年2月期、30万株(約6億円)の自己株式を取得
(3期連続の自己株式取得実施)
- 2021年2月期の年間配当金は、前期比1円増配の81円
(10期連続増配)

	第69期 (2019/2)	第70期 (2020/2)	第71期 (2021/2)
1株当たり年間配当金(円)	75	80	81
配当性向(%)	78.1	71.3	108.0

<参考:経営指標(のれん償却前当期純利益にて)>

	第69期 (2019/2)	第70期 (2020/2)	第71期 (2021/2)
ROE(%)	6.1	8.0	5.3
EPS(円)	115.5	134.6	97.9
配当性向(%)	64.9	69.2	82.7

Contents

I. 2021年2月期決算概要

II. 2022年2月期戦略アプローチと業績予想

ジュエリー事業

- ①「4°C」ファッションジュエリーの商品力強化
- ②ブライダル専門店「4°C BRIDAL」の集客力向上
- ③CRMシステムの活用によるお客様とのエンゲージメント構築
- ④オンライン施策の強化

アパレル事業

- ①デリーファッション「パレット」:
新規出店10店舗、パレット会員の拡大と固定客化による
売上高の大幅な拡大
- ②アパレルメーカー:
消費者のニーズを的確に捉えた企画・商品提案で売上高拡大

「4°C」ファッションジュエリーの商品力強化

- 「4°C」ファッションジュエリー、『Sakura Collection2021』、『Noble of Water』等
有力なコレクションを展開
- 女性からの支持・共感の向上、ギフト・自家需要の拡大による売上高の成長



(「4°C」Noble of Water)

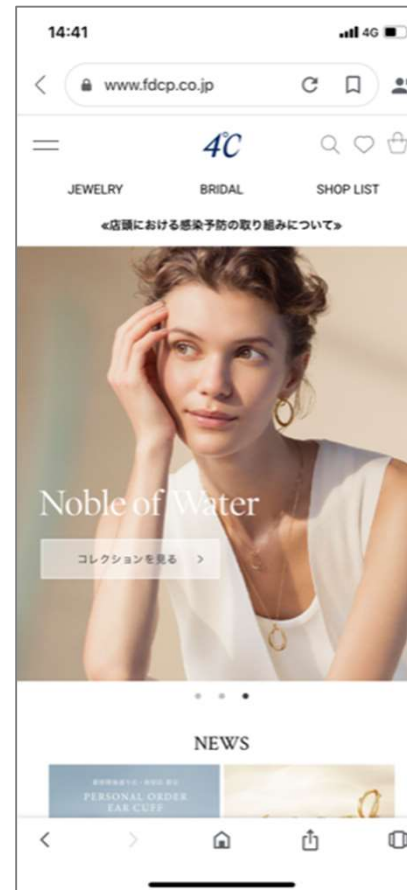
ブライダル専門店「4°C BRIDAL」の集客力向上

- ゼクシィ、TV CM、WEB広告等、多様な媒体を通じた集客施策の実行
- トレーサビリティダイヤ等、商品力の強化による優位性の確立
- 婚礼延期の影響によるリバウンド需要の獲得に向けた競争力強化



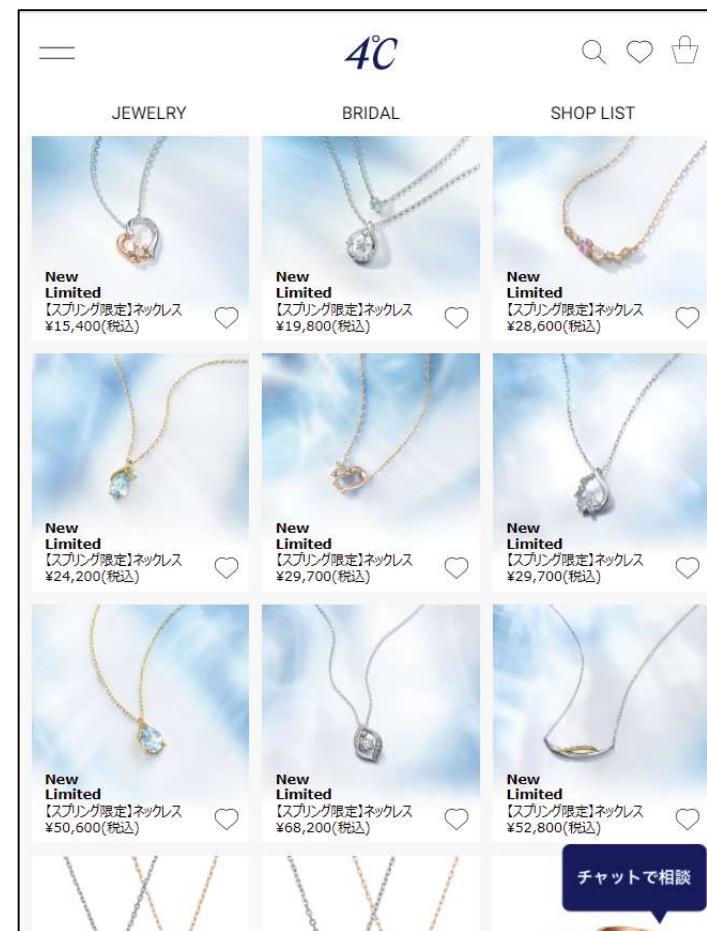
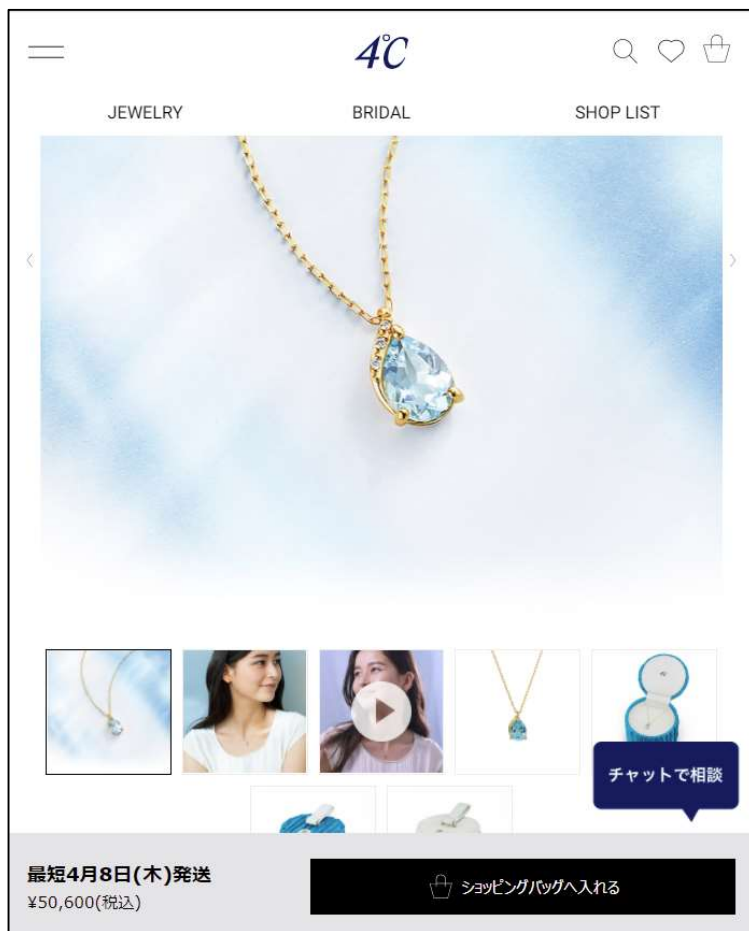
(「4°C BRIDAL」 Aqua Lily)

- CRMシステムの活用によるエンゲージメント強化と会員数の拡大
(21年2月末会員数約 35万人 ⇒ 22年2月末目標 60万人)
- バースデーやアニバーサリーなど、お客様のライフイベントにあわせた提案強化、リピート率の向上



オンライン施策の強化

- 在庫連携や予約・カスタム対応を充実させるなど、店頭とのリレーション強化
- オンライン専用商品群の開発、外部モールへの新規出店
- 2022年3月のブランドサイトリニューアルに向けたプロジェクトスタート



- インフルエンサーの起用による企画提案力と情報発信力の強化
- バングラデシュ生産の優位性を活かしたユニフォーム商材の取り組み拡大
- リモートコントロールによるサプライチェーンマネジメントの安定性確立



(「Hinaオリジナルブランド「LAPOCIA」)

ぽっちゃりアラサーHina
Blogger/Instagrammer/YouTuber
Instagramフォロワー数約10万人

その他契約インフルエンサー

miey (フォロワー数42万人)

- ピラティストレーナー
- ボディメイクのエクササイズ動画を主に投稿

aya (フォロワー数25.6万人)

- インフラ系企業で営業職を務めるOLインスタグラマー
- 「仕事と暮らしを、女性らしく、丁寧に」をコンセプトに、仕事術やインテリアなどを投稿

「パレット」の出店加速による売上高の拡大

- 新規出店による関西ドミナント戦略加速(通期10店舗)、商圈分析の精度向上
- パレット会員の拡大、固定客化の推進による既存店の成長(会員数:37万人 → 41万人へ)
- 海外メーカーからの直接仕入れによる原価率の改善

「パレット」関西エリア出店地域



これからも、
お客さまの笑顔とともに。

デイリーファッション パレットを展開するアージュは、今年で創業25周年を迎えます。地域のお客さまの「暮らしを、ファッションを楽しみたい」というお客さまのために、いつも楽しい商品とサービスを提供し続けてまいりました。これからも、お客さまの笑顔とともに。

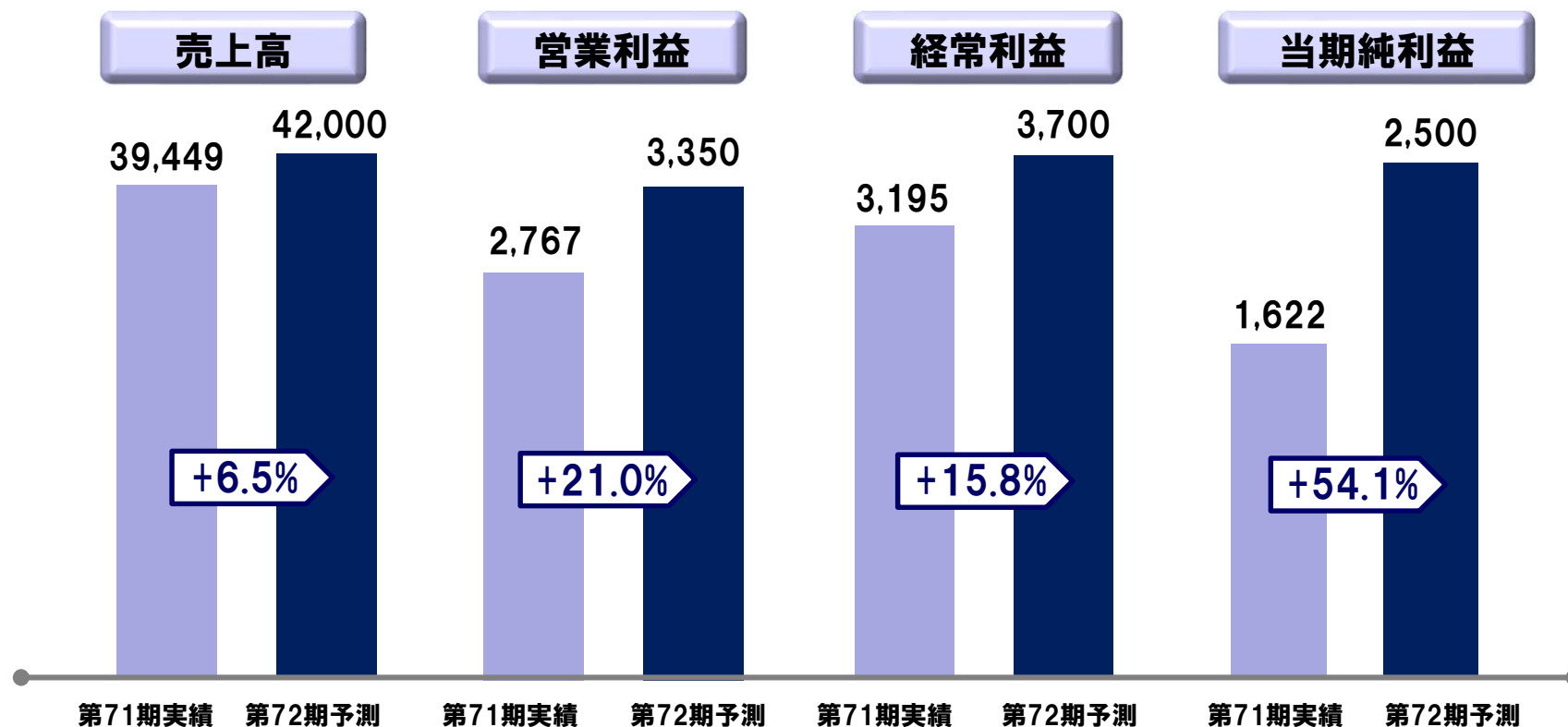
パレット
デイリーファッション

2022年2月期連結業績予想①

- 売上高:ジュエリー事業の回復、「パレット」の出店拡大で増収
- 営業利益:ジュエリー事業は前期休業・時間短縮営業および11月以降の第3波影響による一時的な落ち込みから大幅回復の見通し

売上高	420.0億円(前期比6.5%増)	営業利益	33.5億円(同21.0%増)
経常利益	37.0億円(同15.8%増)	当期純利益	25.0億円(同54.1%増)

(単位:百万円)



2022年2月期連結業績予想②

(百万円、%)	第71期(2021/2)		第72期(2022/2)		前期比
	実績	(%)	通期予想	(%)	増減(%)
売上高	39,449	100.0	42,000	100.0	+6.5
売上総利益	21,294	54.0	23,000	54.8	+8.0
売上総利益率	54.0		54.8		+0.8
販売管理費	18,527	47.0	19,650	46.8	+6.1
内、のれん償却費	496	1.3	496	1.2	±0
営業利益	2,767	7.0	3,350	8.0	+21.0
経常利益	3,195	8.1	3,700	8.8	+15.8
当期純利益	1,622	4.1	2,500	6.0	+54.1
《 参考 》					
のれん償却前営業利益	3,263	8.3	3,846	9.2	+17.8
のれん償却前当期純利益	2,118	5.4	2,996	7.1	+41.5

※のれん償却前営業利益＝営業利益＋のれん償却額、のれん償却前当期純利益＝親会社株主に帰属する当期純利益＋のれん償却額

2022年2月期セグメント別連結業績予想 (内部相殺後数値)

ジュエリー事業

売上高215億円、営業利益26億を予測

- 4月・5月および第3波の実店舗影響分の回復とECの成長を見込む
- 経営環境を踏まえ既存店の見通しを保守的に見積もる
- 21.2期に取り組んだ事業リストラクチャリングにより収益性が改善する見通し

アパレル事業

売上高205億円、営業利益10億円を予測

- 新規10店舗の出店とパレット会員増加による既存店の伸長で売上高の大幅拡大に取り組む
- アパレルメーカー、新事業領域であるユニフォームの取引高倍増を計画(2.5億円→5億円)

(百万円、%)		第71期 (2021/2)	第72期 (2022/2)	
		実績	予想	前期比
ジュエリー事業	売上高	20,641	21,500	+4.2
	営業利益	2,139	2,600	+21.6
アパレル事業	売上高	18,807	20,500	+9.0
	営業利益	896	1,000	+11.6

出退店の計画

□ ジュエリー事業: Canal 4°C 1店舗出店の計画

□ アパレル事業: パレット10店舗出店の計画

		ジュエリー事業					アパレル事業	合計
		国内ジュエリー					パレット	
		路面店 ブティック	百貨店	ブライダル ショップ	ファッション ビル	計		
第71期 実績 (2021/2)	期末	3	68	40	64	175	80	255
第72期 計画 (2022/2)	出店	0	0	0	1	1	10	11
	退店	0	0	0	0	0	2	2
	期末	3	68	40	65	176	88	264

ジュエリー事業における国内取扱いブランド店舗数の計画

		4°C	4°C BRIDAL	Canal 4°C	EAU DOUCE 4°C	合計
第71期実績 (2021/2)	期末	84	40	45	14	183
第72期 計画 (2022/2)	出店	0	0	1	0	1
	退店	0	0	0	0	0
	期末	84	40	46	14	184

※同一店舗にて複数のブランドを扱う複合店は各ブランドごとに1店舗として計上

2022年2月期株主還元の見通し

□ 11期連続の増配、年間配当1株当たり83円を予定(前期差2円増配)

	第71期 (2021/2)	第72期 (2022/2) 予想
1株当たり年間配当金(円)	81.0	83.0
EPS(円)	75.0	117.5
配当性向(%)	108.0	69.8
総配分性向(%)	139.1	—

本資料ならびにIRに関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

株式会社4℃ホールディングス

財務部 小塚(コヅカ)

TEL 03-5719-3295

E-mail ir-yondoshi@yondoshi.co.jp

※将来に亘る部分につきましては、予想に基づくものであり、確約や保証を与えるものではありません。

予想と異なる結果となる可能性があることをご認識の上ご活用下さい。